



トピック 20 少子化

読む前に

- ◆ 少子化問題の原因は何だと思いますか。
- ◆ どんな対策がありますか。

読んでみよう

ある調査によると、日本の出生数はすこしずつ減少しているそうです。日本の出生数はどうして減少しているのでしょうか。

まず、働く女性が増えることによって、未婚化と晩婚化が進んでいます。昔、女性は結婚しなければならないと思われていました。そして、結婚してから、仕事をやめて家事やいくじに専念する女性が大勢いました。しかし、今は女性も仕事で活躍できる社会になりましたから、仕事に専念して、結婚したくない、または結婚しなくてもいいと思う女性が多くなりました。

また、核家族化による少子化の問題もその理由の一つです。昔、おじいさんとおばあさんと一緒に住む家族が多かったです。おじいさんとおばあさんは子どもの世話をするのが普通でした。しかし、今は、核家族が多くなり、おじいさんとおばあさんと離れて暮らす家庭が多いので、もし夫婦が共働きする場合、子どもを育てるのが難しいです。

そして、価値観が変化するにつれて、少子化の問題も深刻になっています。独身のほうが自由に旅行でき、ゆたかな生活ができると思う人が多くなりましたから、結婚しないだんじょが多くなりました。また、子どもを生んでから成人まで育てるのに何千万円もかかりますから、金銭的に負担にならないように、子どもを生まないだんじょも多くなりました。

では、どうやってこの問題を解決することができるでしょうか。

まず、子どもを産みやすい環境を作ります。政府は保育所を増やすべきだと考えています。今、若い人たちに仕事と子育てが両立できると思ってもらえるように保育所を充実させなければなりません。子育てと仕事が両立できる環境があれば、子どもが欲しいと思う家族が増えるでしょう。

企業側は子育てしている職員のたちばを理解しないといけません。仕事をしながら、子育てするのは大変です。ですから、子育てしている職員のための時短、時差勤務、男性の子育て休暇取得などのせいどがあれば、仕事と家庭の両立ができるようになります。

さらに、子育てにかかる負担に関して、政府は支援金や奨学金など経済的な支援を与える必要があると思います。少子化の問題を解決するために、子どもを持つ家族にボーナスを支給する国もあります。日本政府はこのせいどを参考にして、経済的な理由で子どもを産まない夫婦に楽な環境を作るべきだと思います。また、子どもの学費が高いですから、奨学金などを支援するべきだと思います。

少子化は社会全体に計り知れない大きいな影響を与えますから、一刻も早く解決をしなければなりません。

答えてみよう

1. 日本の出生数はどうして減少していますか。

2. 昔と今を比べると、女性の結婚観念はどのように変わりましたか。

3. お金がないから、子どもを産まない人がいます。その理由は何ですか。

4. 少子化の問題を解決するために、日本政府は何をすべきですか。

5. 企業はどのように支援すればいいですか。

単語

例： にほん 日本

1. いくじ _____

2. ゆたか _____

3. だんじょ _____

4. たちば _____

5. せいど _____

例： 仕事 しごと

1. 予想 _____

2. 活躍 _____

3. 核家庭 _____

4. 価値観 _____

5. 両立 _____

メモ

よく使う文型

A. ～ようになります。

例： 子育てしている職員のための時短、時差勤務、男性の子育て休暇取得などのせいであれば、仕事と家庭の両立ができるようになります。

1. _____ようになりました。
2. 納豆が嫌いでしたが、今は_____ようになりました。
3. どうして日本語を勉強しますか。

B. ～ように

例： 今、若い人たちに仕事と子育てが両立できると思ってもらえるように保育所を充実させなければなりません。

1. 先生の話をおれないように_____
2. _____ようにサークルに入りました。
3. どうしてカーテンを開けますか。

話してみよう

1. あなたの国でも少子化問題がありますか。
2. どのような解決方法があると思いますか。